

長持ち電池式WiFi振動センサ



コナンエアー
<conanair>

無線式スマート設備状態監視・診断システム

設置・設定簡単、低価格、電池長持ち
最新設備診断技術による設備安全・安心の確

マルチ・コンディション・モニター (MCM)

設備状態アイコン

開始 停止

測定開始 0:00:00 1:00:00

測定終了 0:00:00 1:00:00

絶対判定基準作成

過去基準保存 過去基準削除

波形 設定

仕様登録 精密診断

予備 ゲータ管理

予備 予備

型式	CNA-WLVS-02	
検出加速度	m/sec ²	±160
検出軸	3軸 (X,Y,Z) および合成値	
応答周波数	Hz	0~1,000 (-3db)
サンプリングレート	Hz	3,200
A/D分解能	13bit	
通信	WiFi IEEE 802.11b/g/n (2.4GHz)	
電源	リチウム一次電池 CR2 1本 (コナーズにて交換)	
動作時間	連続	約8時間
	間欠	約1年 (1日1回測定)



Q&A

Q 1 : 何を測定するセンサーなののでしょうか?

A 1 : 動く物の振動を測ってモニタリングする無線センサーを用いたスマート状態監視・診断システムで、生産設備やインフラ施設などが壊れる前に予兆を知ることで安全・安心に貢献できます。

Q 2 : 従来のもとはどういった点が違うのでしょうか。

A 2 : 主な違いは以下の通りです。

- ① 他社の類似製品に比べ圧倒的低価格です。
- ② 振動測定の初心者でも簡単に使えます
- ③ AIとは違って状態判定理由がわかるので保全技術者による迅速な対応に貢献します。
- ④ 従来のができない膨大な測定データをPCへ迅速に送信ができます。
- ⑤ 他社製品にない最先端設備診断技術(独創技術、特許技術5件)による設備状態の自動監視・診断が行えます。

Q 3 : どういった業界で役立つものなのでしょうか。

A 3 : 製造業全般、食品、医薬品、病院、ビル管理、建設業、上下水道、輸送、倉庫など、動く機械や装置を使っている現場で予防保全、予知保全のために役立ちます。

これまでコスト高のためにできなかったようなところで広く役に立つものと考えています。

橋やトンネルなどのインフラ施設の状態監視・診断などにも応用できます。

マルチ・コンディション・モニター (MCM、特許技術) により
測定ポイント計測・解析等の設定、状態傾向管理、状態確認などが容易に行える!
最新設備診断技術で実現した**自動状態判定、精密診断**

- 3軸振動信号の4周波数帯域解析による高精度な状態判定・診断
- 計測した信号の良否を自動的に検査 (特許5017678)
- 計測、解析条件の設定が簡単
- 最新設備診断技術による自動状態判定 (正常、注意、危険の自動判定)
時間領域・周波数領域のヒストグラム解析による状態識別法 (特願2017-121734)
- マルチ・コンディション・モニタ (MCM) による高効率な設備状態監視・管理 (特許6085862)
- 豊富な解析機能を有するソフトウェアによる精密診断 (構造系異常の最新自動診断法 (特願2017-248423)、軸受の自動診断)
- 状態診断結果報告書の随時出力による状態の傾向管理

株式会社 アイシス、中山水熱工業株式会社、診断工学技研LLP
設備診断技術担当：三重大学大学院 陳山 鵬

発表者：

三重大学大学院	陳山 鵬
中山水熱工業株式会社	中山 慎司
株式会社アイシス	中野 公靖

動くものを自動モニタリング

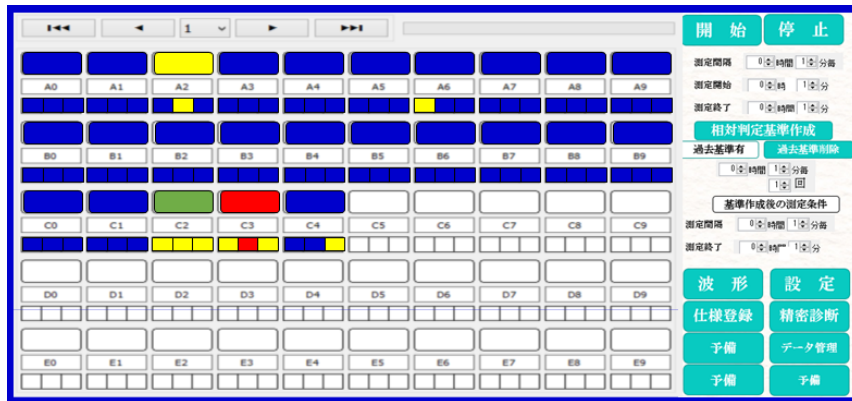
高額でこれまでは
できなかった機械
の状態監視に！



回転機械や
様々な機械に！

モータ、ポンプ、真空ポン
プ、集塵機、ブロワー、コ
ンプレッサー、冷凍機、冷
却塔、空調機、攪拌器、粉
砕機、遠心分離機、搬送機、
減速機、ロボット、
プレス、成形機、
エレベータ、
エスカレータ
など

最先端設備診断技術（うち特許技術5件）
による状態の自動監視・診断



診断報告書で状態傾向・診断結果を適時に確認



橋、
トンネルなど
インフラ点検にも

